

「東京大学金曜特別講座」 2021 年度冬学期（オンライン講座）参加

（「光プロジェクト」～ 難関大学進学支援 ～）

1 実施日時 令和3年 9月24日（金）～ 令和4年1月28日（金）の間（13回）

17:30～19:00

2 実施方法 Zoom を利用したオンライン Live 形式

3 対 象 本校1・2年生（希望者：延べ41名）

4 講座内容

① 9月24日（金） 岡ノ谷 一夫 先生 「動物に心があるか」

②10月1日（金） 成田 憲保 先生 「第二の地球探しの現在と未来」

③10月8日（金） 小粥 太郎 先生 「法学入門」

④10月15日（金） 蔵治 光一郎 先生 「データで見る日本の森林の実態と未来可能性」

⑤10月22日（金） 堀 まゆみ 先生 「汚染を可視化し環境を守る ～環境化学の世界へようこそ～」

⑥10月29日（金） 柳澤 実穂 先生 「生物細胞の形は何が決める？ 物理学からの答え」

⑦11月5日（金） 杉山 清彦 先生 「世界史を中央ユーラシアから見る」

⑧11月12日（金） 伊藤 由佳理 先生 「美しい数学入門 ～特異点の謎に迫る」

⑨11月19日（金） 清水 晶子 先生 「AIDS危機からコロナ・パンデミックを見る」

⑩11月26日（金） 小坂 優 先生

「気候変動の自然科学的理解 ～IPCCによる最新の報告書を読み解く～」

⑪12月3日（金） 祐成 保志 先生 「社会調査の歴史から現代社会を考える」

⑫1月21日（金） 沙川 貴大 先生 「時間にはなぜ向きがあるのか？ ～理論物理学の挑戦～」

⑬1月28日（金） 阿部 公彦 先生 「あなたはふだん文章の『声』を」読んでいますか？」

◇ 東京大学教養学部が主催する「高校生と大学生のための金曜特別講座」本校生延べ41名が参加しました。今回の講座はすべてオンラインで実施され、生徒は自宅からスマホ、PCなど各自の端末を用いて受講しました。

◇ 夏学期もそうでしたが、内容は大学生も参加する講座だけあって難しかったと思います。しかし上記のタイトルを見ただけで、思わず食指を動かさずにはいられない…今回もそんな好奇心を刺激する標題の講座を揃えていただきました。

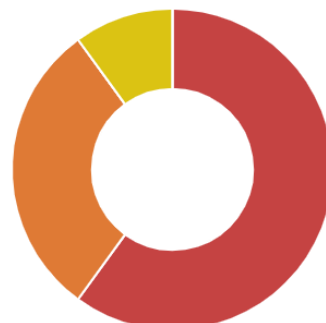
参加生徒には講義用の資料（PDF）も準備されており、いずれも最先端の研究成果が披瀝（ひれき）された素晴らしいものでした。今現在、コロナ禍に悩まされている全国の高校生・中学生が、一方でネットを通じてリアルタイムに同じ講義を受講でき、希望すれば質疑応答にも参加できるのですから、まさにオンラインの恩恵を噛みしめることができる一時であったと思います。

◇ この講座に関して、本校は「提携校」になっていますので、4月以降（新しい夏学期）にも引き続き参加させていただく予定です。気になる講座があったら、皆さんもぜひ参加・挑戦してみてください！

＜生徒のアンケート結果から＞

（Q 1）今回の講座を受講したことは、あなたにとって有意義でしたか？

- ・ 大いに意義があった (60.0%)
- ・ 意義があった (30.0%)
- ・ どちらともいえない (0%)
- ・ あまり意義がなかった (10.0%)
- ・ 意義がなかった (0%)



（Q 2）今回の講座の難易度はどうでしたか？（複数回答可）

- ・ かなり難しかった (10.0%)
- ・ 難しかった (40.0%)
- ・ 少し難しかった (40.0%)
- ・ 比較的易しかった (10.0%)
- ・ たいへん易しかった (0%)



（Q 3）講座を受講しての感想を記してください。

- かなりハイレベルな講座だったけど、普段考えもしないようなことをたくさん学べて楽しかった。
- 情報熱力学について興味を持つきっかけになりました。 ありがとうございます。
- とても面白くて、たくさんの新しいものについて学ぶことができました。
- 興味を具体化することができ、学部選択のための素材になった。
- 世界が広がりました。
- 今やっている勉強がどんな風に応用されているのかが分かって、大学や勉強への興味が高まった。
- 自分の視野を広げるきっかけになったこと、大学の先生の授業がきけたことがよかった。タイムリーな問題を話されていたので、知識にもなり、考えるきっかけになった。